

## 平成24年度 都立工芸高等学校経営計画（定時制）

校長名 松本光正

平成24年4月 校長決定

入学した生徒の意欲を高める学校 ～技術の習得や資格取得を通して、意欲や自信を高める～

### 1 目指す学校

本校は、明治40年の創立以来、工業・工芸・デザイン系の専門高校として多くの人材を輩出してきた。このよき伝統を継承しつつ、専門教育・産業教育の更なる充実を図るとともに、本校で得た専門的知識や技術を生かし、社会で自信を持って活躍できる生徒、大学等への進学にも対応できる確かな学力を身に付けた生徒を育成する学校を目指す。

特に、今年度、昨年度にもまして1学年に120名近い生徒が入学してきた。その結果、全学年で380名を超える生徒が在籍することとなり、この生徒数は過去10年間では最大の数値である。こうした中で、本校の教育活動を各分掌において円滑かつ組織的に進める必要がある。

- (1) 生徒一人一人が明るく伸びやかに安心して活動できる学校
- (2) 自ら考える力や創造性、美的センスを育み個性・能力を伸長する学校
- (3) 専門的知識・技術を習得し、社会人としてマナーを持って活躍できる人材を育成する学校
- (4) 大学等への進学に対応した学力の向上や資質・技能が習得でき、進学希望が実現できる学校
- (5) 学校行事、部活動等、学校生活への満足度が高く、将来の夢をはぐくむ教育活動を推進する学校
- (6) 本校の教育成果・教育機能を地域や企業に還元する学校
- (7) 東京における工芸・デザイン教育の中核を担う学校

### 2 中期的目標と方策

#### (1) 生徒、保護者の満足度の高い学校

##### 1) 授業への満足（学習指導）

わかる授業、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばす授業を進めるとともに、大学等への進学にも対応した教育課程の充実をはかり、生徒の多様なニーズに応えるようにする。また、優れた技術、知識を持つ専門家を市民講師に活用する他、大学講師による講習会を実施したり、各種展覧会の見学、校外授業等を実施し、学習の目的意識を明確化して、授業の満足度を高める。

##### 2) 進路指導への満足…希望進路の実現（進路指導）

進路実現のため、1学年から計画的にキャリア教育を実施し、生徒の自己理解、自己啓発を促進する。また、企業等との連携を強化し、積極的な進路開拓を図り、進路に関する情報、資料を生徒に提供して、将来への夢を抱かせるようにする。また、生徒に自信と意欲を高めるため、各種検定試験、資格取得指導を充実させ、企業見学、インターンシップ等の体験学習を拡充して、進路指導への満足度を高める。

##### 3) 生活指導への満足（生活指導、健康づくり）

自主・自律に基づく基本的な生活習慣を確立し、社会人としてのマナーを育成し、問題行動の発生ゼロを目指したきめ細かな指導と統一した指導を推進するとともに、生徒一人一人が充実した学校生活を送ることができるよう相談体制を構築し、充実させる。また、セーフティー教室、

交通安全教育、薬物乱用防止教育等を通し、生徒の規範意識を育成し、自他をいつくしみ、生命を大切にするなど、豊かな人間性や社会貢献の精神を育む。本校に配置されるスクールカウンセラーと連携を図るとともに、昨年度まで実施してきた専門医との連携を通して、生徒の生活指導の充実に向け校内体制を築く。

#### 4) 特別活動への満足（特別活動・部活動）

ホームルーム活動や工芸祭・卒業制作展等特色ある学校行事、生徒会活動を通して、成果をあげることによって特別活動の満足度を高める。また、今年度東京都教育委員会から指定された部活動推進校として部活動を活性化し、意欲的な態度を育てる。

#### 5) 学校生活への満足（健康づくり）

安全で健康的な学習・生活環境を提供し、食育等とおした健康づくりを行い、危機管理について意識を醸成し危機管理体制の整備、訓練を実施して、学校生活への満足度を高める。また、今年度から全都立高校で実施する防災教育推進事業について、地域と連携しながら組織的に取り組む。

### (2) 地域や企業、大学等の期待に応える学校

#### 6) 地域行事への参加、ボランティア、奉仕活動を推進する。(地域交流等)

#### 7) インターンシップの実施などを通して、地場産業を中心とする企業との連携を強化する。(進路指導)

### (3) 特色ある教育活動を推進する学校

#### 8) 都心に位置する地の利を生かした工芸・デザイン教育、情報関連教育を推進する。(広報活動)

#### 9) 体験学習、各種公開講座を開講し、開かれた学校づくりを推進する。(広報活動)

#### 10) 外国語教育の充実と国際理解教育の推進を図る。(学習活動)

#### 11) 学習指導要領の改訂にもとづいた適切な教育課程の円滑な実施に向け準備を進めるとともに、本校の将来構想及びその実施計画を策定する。(学校経営・組織体制)

## 3 今年度の取組目標と方策

### (1) 教育活動の目標と方策

<学習指導>…分かりやすく、生徒の意欲関心を高め、実力アップにつながる授業を進める。

#### 12) 生徒による授業評価、教員相互の研究授業等の研修成果を生かした授業の向上を図る。

#### 13) 学習習慣の定着を図り、基礎学力を向上させ、希望進路を実現させる。昨年度から実施している学力向上推進事業により、基礎学力の向上を図るための調査研究を通し授業改善の工夫を図る。

#### 14) 英語、数学、国語で習熟度別授業を実施し、発展的学習の充実に図る。

#### 15) 放課後、長期休業日に資格・検定講座、進学対策講座を実施する。

#### 16) 教科「奉仕」の円滑な実施を図る。

<進路指導>…進路未決定者をなくし、第一希望の進路実現を図る。

#### 17) 進路資料・情報の提供と進路室を活用した個別進路相談の推進を図る。

#### 18) 4年間を見通した進路ガイダンスを実施する。

#### 19) 企業見学会、インターンシップ等の体験学習を実施する。

#### 20) 進路決定に役立つ職業体験相談会、デッサン講習会を実施する。

#### 21) ハローワークとの連携を強化する。

<生活指導>…集団における規範意識と社会性の育成を図る

- 22) 社会や学校生活のルール・マナー、身だしなみの指導を図る。
- 23) 校内美化を推進し、校内施設全般において整理・整頓をすすめより良い教育環境を作る。

<特別活動>…生徒の自主・自律活動を通じて健全な人格形成を図り、帰属意識を高める

- 24) 部活動への参加を勧め、学業との両立を図る。
- 25) 工芸祭、体育祭、球技大会等の特色ある学校行事を充実させる。
- 26) 部活推進指定校として、部活動の一層の活性化を図る。
- 27) 各種コンクール、コンテスト等への参加を奨励する。

<健康づくり>…生徒の健康への関心を高め、健康づくりに取り組む。

- 28) 交通安全、薬物乱用防止等のセーフティー教室を実施する。
- 29) 日頃から生徒の状況を把握し「心の悩み」相談の充実を図る。配置されたスクールカウンセラーと連携し、生徒の心情の理解に努めるとともに、外部の諸機関との連携を進める。
- 30) 全校生徒に体力テストを実施し、体力向上を推進する。
- 31) 給食指導をとおして、健康な体づくりと健全な心の育成を図る。

<募集・広報活動>…工芸の良さや特色を中学生、都民にアピールし理解と信頼を深める。

- 32) 情報の即時発信のためにホームページを更新、充実させる。
- 33) 小・中学校への出前授業と本校での体験学習を実施する。
- 34) 授業公開・学校説明会を実施する。

<学校経営組織体制>…教職員の協働による学校経営を推進する。

- 35) 生徒による授業評価の活用及び教科・校内研修体制を確立する。
- 36) OJT、研修センターの研修、校内研修等を活用し、自らを高める研修を行うこととする。
- 37) 経営企画型事務室として経営的視点に立った経営計画の策定・執行にあたる。
- 38) 学校開放事業を推進し、地域に開かれた学校づくりを進める。
- 39) 教員自らのアイデアを自己申告等を通して提言し、学校経営、学習指導等を活性化する。

(2) 重点目標と方策 ( ) 内昨年実績

- ① 漢字検定や各専門学科の資格取得の充実 100名 (昨年度 100名)
- ② 授業公開 参加者数 200名以上
- ③ 進路未決定率 20%未満 (昨年度 23%)
- ④ 礼儀・服装指導・遅刻指導等の日常的指導 集会 3回 (昨年度 3回)
- ⑤ 入学応募者の確保 1学年在籍入学確保 120名 (昨年度 115名)